

テーマ研究・調査活動成果報告書

提出日： 2013年04月20日

<p>テーマ名</p>	<p>ITベンダーとITC協業による地域クラウド事業化研究</p>	
<p>届出組織等名称</p>	<p>名古屋コンサル21</p>	
<p>成果物公開URL</p>	<p><a href="http://3saas.jp/contents/report.php">http://3saas.jp/contents/report.php</a></p>	
<p>当活動代表者 及び担当者連絡先</p>	<p>(代表者氏名) 高間正俊 電話番号： 0586-25-8380 e-mail: takama@nc21.jp</p>	<p>(担当者氏名) 谷口 卓 電話番号： 090-3578-1006 e-mail: taniguti@nc21.jp</p>
<p>研究・調査 成果概要</p>	<p>《総括》 本事業化研究は、前年(H23年度)からの継続研究として、前年度の調査研究から一歩進めた事業化研究を実施。 また、本事業はIPA[情報処理推進機構]からITCAが受託した「クラウドの利活用促進のための自立的なネットワーク形成と新たなビジネスモデルの構築に関する調査等」の中部地区における活動として、以下のURLにも報告書(活動成果)が公開されている。 <a href="https://www.ipa.go.jp/jinzai/jigyou/index.html">https://www.ipa.go.jp/jinzai/jigyou/index.html</a></p> <p>《活動成果概要》 ①中部地域におけるクラウドビジネス創出の事業化研究として、地域ITベンダーとITCとが協業体制を組んだ対面型クラウドサービスの実証モデルシステムを3件を構築した。 ②参加したITCは9名、ITベンダーは10社である。 ③広報活動として以下の施策を実施。 ・中小企業ユーザ向け啓蒙セミナーの開催：4回 ・ITベンダー向けセミナーの開催：3回 ・参加メンバーでのマッチングセミナー開催：4回 ④本事業化研究会は、今後も事業化コンセプトを、「顔の見えるクラウド」として、対面サービスを基本におき、IT経営を望んでいる経営者に対して、ITCが当該企業に合致したIT化戦略を提案し無理のないIT導入と定着までを一貫してサービスする事業形態を目指していく。 ⑤本研究会の事務局として「岐阜IT協同組合」があり、この組合10周年記念行事が3月28日にソフトピアジャパンで開催された。本研究会もブース出展をして、来場者へのアナウンス、セミナーを実施して好評を得ている。</p>	
<p>成果物</p>	<p>《報告書》 我々の活動報告は、上述したIPA事業として公開されており、そこに記載されている実際のクラウド導入事例が実績であり、メンバーの共有財産となっている。</p> <p>《共有テンプレート》 実際の企業へのクラウド構築に際して各種のテンプレートを作成した。 例)プロモーション資料、現状分析資料、ヒアリングシート、経営者向け解説書、セミナー資料等がメンバーでの共有財産として、今後も利用していくと共に内容のブラッシュアップをしていく。</p> <p>《その他》 本研究活動を通して、既に個別のITC+ITベンダー連携による受注活動が始まっており、今後もメンバーを増強しながら地域貢献をしていく。</p>	

\* 青字は事務局で記入します。

<p>事務局受付日</p>	<p>2013/4/20</p>
<p>案件番号</p>	<p>S12002</p>